## 第9期諮問事項「市民活動団体の力をまちづくりに生かす」の進め方(案)

2019.8

●目指すべきゴールのイメージを、委員会で共有する。

(第2回)

- ●ゴールへのアプローチ方法を、委員会で共有する。
- 1 目指すべきゴール:「市民活動団体による地域での社会貢献事例を増やす」

そのために、市民活動団体と地域活動団体の連携促進に重点を置いてUMECOや市の事業を見直す。

#### 【主な主体】

- ・市民活動団体(UMECO登録団体、NPO法人など)
- ・地域活動団体(自治会、地域コミュニティ、民生・児童委員、地区社協、学校PTAなど)
- ・UMECO (市民活動による「地域課題の解決」を目指す中間支援組織) ※地域での社会貢献とは何か?→地域住民の生活の向上につながる活動が行われること。
- 2 ゴールの具体的なイメージ
- (1) 市民活動団体が、地域活動に協力できる。

そのために ・・・市民活動団体が、地域活動や地域課題を知る。★1

- …市民活動団体が持つ専門性や経験を地域にアピールする。★2
- ・・・・市民活動団体同士が協力し、継続的に地域に関わる力を持つ。★1

#### 協力の促進策の例 ◆

- ・UMECO登録団体の分野別グループ化・UMECO登録団体による事業の実行委員会化
- ・交流事業を契機とする新たな活動や団体の発足・NPO法人から他団体へのノウハウ伝授
- ・団体同士の協働や団体と地域による協働への補助金
- (2)地域活動団体が、市民活動団体に活動の場(アピールの場)を提供できる。

そのために ・・・地域活動団体が、市民活動団体の活動や依頼方法を知る。★2

- ・・・地域活動団体に、市民活動を身近に感じてもらう。★3
- (3) 地域活動の中から生まれた団体が、市民活動団体として他の地域にも貢献できる。
- (4) 市民活動団体や地域活動団体と、多様な主体(事業者、学校等)が円滑に連携できる。 そのために ・・・・UMECOのコーディネート能力を強化する。★4
- ★:UMECOの既存事業
  - ★1わくわく交流会 ★2市民活動団体登録名簿 ★3新春交流会 ★4市民活動団体と事業者との協働事業、地域活動団体ネットワーク形成事業
- 3 事業見直しの方法:「現状分析」と「対策」
- (1) 現状分析
  - ①既存資料:市民活動団体の状況、地域の状況、UMECO事業の状況(→資料4-2~4-7)
  - ②ヒアリング:市民活動団体、地域活動団体、UMECO (→6 ヒアリング案の検討)
  - ③アンケート:市民活動団体、地域活動団体
  - ④視察
- (2)対策
  - ・(1) の分析結果をもとに事務局がたたき台を作成し、対策を検討する。
  - ・実施できる対策は令和2年3月以降に実施し、その結果をもとに再度検討する。

### 4 今後のスケジュール

	現状分析			対策		
	ヒアリング	アンケート	視察	対策の検討	対策の実施	対策の確認
2019.8 委員会②	案の検討、決定					
2019.9~10	事務局が実施					
2019.10 委員会③	結果の確認	案の検討、決定	案の検討、決定			
	UMECO~Ø					
	ヒアリング実施					
2019. 10~1		事務局が実施	事務局が実施			
2020.1 委員会④		結果の確認	結果の確認	案の検討(1)		
2020.2 委員会⑤				案の決定(1)		
2020. 2~7					UMECO.	
					市が実施(1)	
2020.5 委員会⑦						途中確認(1)
2020.7 委員会9				案の検討(2)		結果確認(1)
2020.8 委員会⑩				案の決定(2)		
2020.8~11					UMECO.	
					市が実施(2)	
2020.10 委員会①						途中確認(2)
2020.11 委員会①				答申書の検討		結果確認(2)
2021.2 委員会(3)				答申書の検討		
2021.5 委員会(5)				答申書の完成		

※例:②は第2回委員会のこと。

※⑥・⑭は補助金2次審査、⑧・⑯は補助金等報告会のため諮問事項の検討は行わない。(委員会は全16回)

# 5 ヒアリングの概要

対象	候補者	実施時期	実施者	主な質問事項	
市民活動団体	次の表のとおり	2019.9~10	事務局	市民活動団体による地域での社会貢献	
地域活動団体	事務局が調整	2019.9~10	事務局	を増やすためには、どうしたらよい	
UMECO	正副センター長	2019. 10	委員会	カ~。	

## 【市民活動団体のヒアリング候補】

団体の名称	団体の活動内容			
NPO法人命を大切に	乳幼児から青少年、子育て中の親、教育関係者及び地域住民に対して、自然体験に関			
する小田原を創る会	する事業、食育に関する事業及び家庭教育に関する事業を行い、子どもたちが明るく 元気で健やかに育つことが出来るまちづくりに寄与する。			
NPO法人	広く障害者に対して、障害者の自立及びQOL(生活の質)向上に関する事業を行			
サポートKAZE	い、地域社会の医療・福祉の増進を図り、広く公益に寄与することを目的とする。障害者の自立とQOL向上を図るための支援事業および啓発事業を行う。			
エコロジカルコミュニ	西湘地域の豊かな自然環境を守り引き継ぐため、水の源である水を大切にする暮らし			
ティあおいほし	方を提案する。   加えて、健康に快適に生きる技術、知識を習得し、広める。			